連載
おおむた自慢

九州大会に勝ち、都大路への手応えを感じた
…全国大会準優勝を大牟田高校駅伝部が振り返る

昨年12月22日の第64回全国高等学校駅伝競走大会において準優勝に輝いた大牟田高校駅伝部。故郷に凱旋しての報告会（12月25日）と、道の駅おおむたでのトークショー（12月28日）を取材しました。

全国大会での大牟田高校の成績

出場回	大会回	年	大牟田高の成績		優　勝　校
			タイム	順位	
1	10※	1959	2時間14分49秒	2位	西条農※（中国·広島）
2	16※	1965	2時間11分25秒	2位	福岡大大濠（福岡）
3	22	1971	2時間16分03秒	9位	中津商（旧中津東）（大分）
4	23	1972	2時間18分01秒	16位	世羅（広島）
5	25	1974	2時間12分08秒	2位	世羅（広島）
6	26	1975	2時間09分11秒	1位	大牟田（福岡）
7	27	1976	2時間09分57秒	1位	大牟田（福岡）
8	30※	1979	2時間13分04秒	14位	中京（旧中京商）（岐阜）
9	31	1980	2時間12分37秒	6位	中京（旧中京商）（岐阜）
10	37	1986	2時間08分46秒	9位	市船橋（千葉）
11	38	1987	2時間06分01秒	2位	埼玉栄（埼玉）
12	39	1988	2時間05分53秒	1位	大牟田（福岡）
13	40	1989	2時間06分12秒	4位	報徳学園※（近畿·兵庫）
14	41	1990	2時間06分48秒	2位	西脇工（兵庫）
15	42	1991	2時間06分47秒	1位	大牟田（福岡）
16	43	1992	2時間09分23秒	14位	西脇工（兵庫）
17	44	1993	2時間07分09秒	5位	仙台育英（宮城）
18	45	1994	2時間07分28秒	6位	西脇工※（近畿·兵庫）
19	46	1995	2時間06分53秒	3位	西脇工（兵庫）
20	47	1996	2時間06分50秒	2位	報徳学園（兵庫）
21	48	1997	2時間04分35秒	2位	西脇工（兵庫）
22	49	1998	2時間05分24秒	2位	西脇工（兵庫）
23	50	1999	2時間06分51秒	8位	仙台育英（宮城）
24	51	2000	2時間04分48秒	1位	大牟田（福岡）
25	52	2001	2時間06分07秒	7位	仙台育英（宮城）
26	53	2002	2時間04分59秒	3位	西脇工（兵庫）
27	54	2003	2時間05分47秒	5位	仙台育英（宮城）
28	55	2004	2時間08分00秒	22位	仙台育英（宮城）
29	56	2005	2時間07分38秒	11位	仙台育英（宮城）
30	57	2006	2時間06分32秒	10位	世羅（広島）
31	58	2007	2時間08分28秒	18位	仙台育英（宮城）
32	59	2008	2時間06分39秒	10位	佐久長聖（長野）
33	60	2009	2時間06分57秒	13位	世羅（広島）
34	61	2010	2時間08分46秒	20位	鹿児島実（鹿児島）
35	62	2011	2時間10分31秒	32位	世羅（広島）
36	63	2012	2時間07分11秒	15位	豊川（愛知）
37	64	2013	2時間03分54秒	2位	山梨学院大付（山梨）

「大会回」欄の※は大牟田高が地区代表として出場
「優勝校」欄の※は地区代表として出場

勝たせてあげたかった

赤池健監督

「強豪校と違い大牟田高校のメンバーは全国的には知名度もない。そこが大高らしいし、だからこそ勝たせてあげたかった」と赤池健監督は静かに語りました。しかし、今回の準優勝が市民にどれだけの元気を与えたか計り知れません。「サポートのメンバーなど、チーム全員で勝ち取った結果。市民の皆さんの応援が、きつい時に僕達の背中を押してくれた」と、メンバーは口をそろえました。

プレッシャーを力に

「今年こそという市民の期待も大きく、プレッシャーは感じなかったか」の問いに、監督は、「プレッシャーを感じさせてくれる雰囲気の中で頑張れるという喜びが大きい。今回の成績は、入賞できなかったこれまでの教え子たちも含め、毎日毎日、毎年毎年の積み重ねの結果です」と答えました。

今年は特別だった？

「何か特別な指導があったのか」の問いに、監督は「変わったことはやってない。ただ、走ること以外の清掃や片づけ・グラウンド整備などを助け合ってやり遂げるという力がしっかり身についたことはチームにとっても大事だった」、「彼らは、以前優勝していた頃のまちの雰囲気を知らない。『勝つ』という感覚を持ちにくい中で勝負を意識するには、『九州大会で勝つ』ことが大切だった。そしてそれができたことで、『都大路へ勝負にいける』という手応えを持てた」と振り返りました。

次のステージへ！

３年生たちは、「この悔しさを箱根駅伝で」、「次のステージで」、「感謝の気持ちを忘れず」と抱負を述べました。１、２年生も、「今年の悔しさを来年に」と練習に励んでいます。監督も「駅伝部の練習場は大牟田です。市内を縦横無尽に走っています。市民の皆さん、見かけたらどんどん声をかけて、子どもたちを励ましてください」と会場で呼びかけました。

過去には『２位の翌年にＶ』を３度達成しており、古豪のＶ奪還は後輩達に託されました。

編集後記

今号の表紙画像は議論になった。本紙はまずは読者から手に持ってもらうことが大事だと考え、表紙の重要性を踏まえ「大牟田高校の駅伝」に。前評判は良いが大丈夫か？など議論しながらも、力走に期待し大会前だが全員一致で決定。結果はV写真とはならなかったが堂々の準優勝。次につながるレースを展開し、大牟田の名を全国に広め、地元も歓喜で沸かせた大牟田高校の皆さんに感謝。議会だよりも次につながる紙面にしたい。（ヤマドリ）

■編　集　議会報編集委員会
【委員長】吉田康孝　【副委員長】北岡あや
【委　員】大野哲也　平嶋慶二　森　竜子
■発　行　大牟田市議会
〒836-8666　福岡県大牟田市有明町２丁目３番地
TEL　0944-41-2800　FAX　0944-41-2880
E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp